

2021年5月31日

各位

会社名 プロパティエージェント株式会社
代表者名 代表取締役社長 中西 聖
(コード番号 3464、東証第一部)
問合せ先 取締役 岩瀬晃二
(TEL. 03-6302-3627)

東京eスポーツゲート株式会社との FreeiD 独占導入に関する

業務提携の基本合意書締結に関するお知らせ

～ 年間 100 万人の来場を目指す esports スタジアムへの導入 ～

当社は、取締役会において、当社と東京eスポーツゲート株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：原 康雄 以下、東京eスポーツゲート）との間で、東京eスポーツゲートが今冬に東京タワーフットタウン内に開業するスタジアムに、当社の子会社 DXYZ（ディクシーズ）株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：中西 聖）が提供する顔認証 ID プラットフォームサービス「FreeiD（フリード）」の独占導入に向けた業務提携の基本合意書を締結することについて、決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業務提携の理由

子会社 DXYZ 社は、住まい（Condominium）・会社（Company）・街（City）の 3 つの C の DX を実現していくことを目指しており、その一つとして、DXYZ 社が展開する顔認証サービス『FreeiD』は、2021 年 1 月に FreeiD を導入した “鍵が要らないマンション” を実現いたしました。

東京eスポーツゲートは、TOKYO/JAPAN のアイコンである東京タワーの商業エリア約 5,600 ㎡におよぶ広大な延床面積を活用し、東京タワー至近の近隣施設とも連携した一大 esports スタジアムを開発しており、さらにオフラインだけでなくオンラインのデジタル・メディアも連携した esports の発信拠点として、ここから日本全国を盛り上げる esports 体験を届けていきます。

今回、街（City）を DX する FreeiD として、このスタジアム内での本人認証を FreeiD の顔認証システムで実施することにより、東京eスポーツゲートに来場されるお客様に新たな UX 体験をご提供できる点において双方のシナジー発揮を期待できると考え、今回の FreeiD 独占導入に関する基本合意書を締結するに至りました。



写真提供元：株式会社 TOKYO TOWER

=



2. 業務提携の内容

東京 e スポーツゲートが、東京タワーの商業エリアに開発する esports スタジアム内での本人認証に FreeiD の顔認証システムを独占的に導入する業務提携となっております

3. 業務提携の相手先の概要

(1)	名 称	東京 e スポーツゲート株式会社 (TOKYO ESPORTS GATE, Inc.)	
(2)	所 在 地	東京都港区芝公園 4-2-8 日本電波塔ビルディング 4 階	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 原 康雄	
(4)	事 業 内 容	リアルプラットフォーム事業、デジタルプラットフォーム事業、イベント事業、コンサルティング事業	
(5)	資 本 金	2 億 500 万円 (資本準備金含む)	
(6)	設 立 年 月 日	令和 2 年 12 月	
(7)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
		人 的 関 係	該当事項はありません。
		取 引 関 係	該当事項はありません。
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

※ 当該会社は非公開会社であり、大株主及び財務情報については非公開とすることを求められているため、記載しておりません。

4. 日程

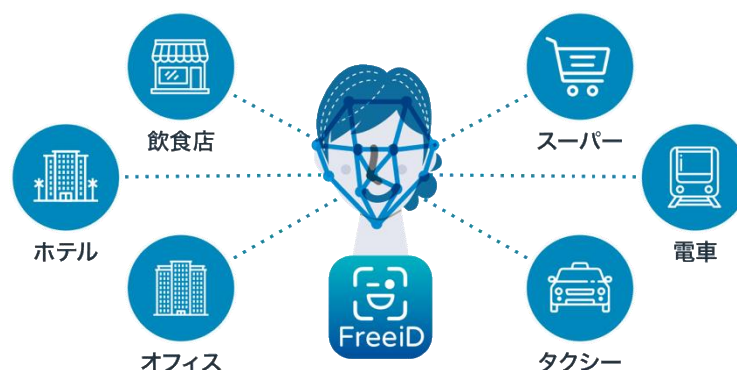
(1)	取 締 役 会 決 議 日	2022 年 5 月 31 日 (本日)
(2)	契 約 締 結 日	2022 年 6 月中 (予定)
(3)	事 業 開 始 日	未定

5. 今後の見通し

本件基本合意書締結が 2022 年 3 月期の連結業績に与える影響については、軽微である見通しですが、今後の業績に影響を与えると判明した場合は、速やかに公表いたします。

6. FreeiD 概要

FreeiD は、これまでバラバラだった”鍵”や”決済”を 1 つの顔認証 ID で実現するプラットフォームです。一度アプリで顔情報を登録するだけで、オフィスの入室や買い物の決済等様々な場所で顔認証を利用してスマートに行えるサービスとなります。



7. esports スタジアム施設概要

場所	東京タワー直下の東京タワーフットタウン (1階 / 3～5階)
延床面積	約5,600㎡
開業	2021年冬（予定）



以上